

SUPER
FORMULA

STAGE

superformula.net

INDEX

- 2017 出場ドライバー紹介 ②③
- 今大会の見どころ ②
- 本山 哲アンバサダーが語るコースガイド ③
- PICK UP RACE QUEEN ④
- リア流 SUPER FORMULA 調理法 ④
- インフォメーション ④

Published JAPAN RACE PROMOTION
2-3-25 Kudan-minami Chiyoda-ku Tokyo

本紙への広告掲載のお問い合わせは —
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
☎03-3237-0131
http://superformula.net

JRP
Japan Race Promotion Inc.

INTERVIEW NO.5

DOCOMO TEAM DANDELION RACING ドライバー

伊沢拓也

Takuya Izawa

#41

「この1年、この1年で結果を出せなければ日本に帰ろう」

まもなく30歳になろうかという2014年の春、伊沢拓也はF1直下のフォーミュラカテゴリーであるGP2挑戦のため、ひとりヨーロッパへと旅立った。18歳の時、ドイツを拠点としてフォーミュラ・ルノーに参戦して以来10年余り。その後、日本のレースでキャリアを築いてきた伊沢はすでに結婚し、父ともなっていた。だが、ホンダが第4期のF1活動を開始し、久々の“日本人F1ドライバー”を生み出したい思いを持っていることは知っている。自分がそうなれるのかどうか確証はなかった。だが、ドライバー人生で巡ってきたチャンスに伊沢は賭けることにした。

そこから、生活拠点をはじめ、すべてをひとりで手配。開幕までの時間はアツという間に過ぎる。チームやヨーロッパでのレース環境に対する準備が完全に整ったという状況ではないまま、伊沢はシーズンに突入せざるを得なかった。それでも時折折光る走りを見せたが、周りは10代後半から20代前半の若手選手たち。よほどズバ抜けた走りを見なければ、30代に差し掛かろうとしている自分にF1の扉は開かない。伊沢はそのことを悟っていた。

1984年、東京に生まれた伊沢は、小学生時代からレーシングカートを始めるとアツという間に地方選手権から全日本選手権に駆け上がってきた。本人は“たまたま勝っただけ”と謙遜するが、その後も早熟ぶりを発揮。2002年に日本で初めて限定Aライセンスの発給を受けると、普通免許取得前からF4に出場。同じ年には鈴鹿レーシング

スクール・フォーミュラ (SRS-F) を首席で卒業してスカラシップを受けた。翌年にはARTA プロジェクト期待の若手として渡欧。フォーミュラ・ルノーのドイツシリーズとヨーロッパシリーズに参戦し、海外での経験も積んで戻ってきた。だが、帰国後の2004年から2年間、シリーズ参戦したフォーミュラ・ドリームでキャリア初の挫折を味わう。同シリーズでは自分よりも若い塚越広大が勝ちまくった。特に2シーズン目は全戦優勝という速さ&強さで、歯が立たなかったのだ。

それでも伊沢の心が折れたわけではない。毎回サーキットに向かうたび、「今回こそ絶対に勝つてやる!」とより気合いが入った。実際にはその気持ちが強過ぎて噛み合わない部分もあったのだが、伊沢はガムシャラに挑み続け、自分の“走り”というものに対してより深く考えるようになったという。

そうした姿を見ていてくれたのが、若手の育成

にも定評がある戸田レーシング。フォーミュラ・ドリームで塚越に敗れた伊沢は当時、周囲から“シート喪失の危機”とも噂されていたが、そこにチーム代表の戸田幸男が声をかけたのだ。戸田の期待に応えた伊沢は、F3ではデビューイヤーに早くも優勝。塚越よりも先に勝ち星を挙げる。翌年はリアル・レーシングに移籍。塚越とチームメイトになったことで、その走りから多くのことを学ぶこともできたという。

そこから着実に階段を上がり、人との縁にも恵まれて2008年にはARTAからフォーミュラ・ニッポンにステップアップ。デビュー戦からフロントロウを獲得するという勢いを見せる。同時に、スーパーGTのGT500クラスにもフル参戦を開始し、やはり元気の良さを印象付けた。その翌年、フォーミュラ・ニッポンでDOCOMO TEAM DANDELION RACINGに移籍した伊沢は、そこから一歩一歩、トップコンテンドーへと上り詰

めていく。2012年には、再び塚越広大とチームメイトになり、常に1-2位を争う存在に。自身の初優勝を含め、最後までタイトルを賭けて戦った。こうした力が認められる形で2014年、再び渡欧することになったのだ。

しかし、伊沢は翌年には帰国。自分で自分に区切りをつけた結果だった。だが、伊沢が先鞭をつけたことで、今ではホンダの若手ドライバーたちが次々にヨーロッパでの挑戦に向かっている。“拓也”の拓は、“開拓”の拓。まさに道を切り拓いて帰ってきたのだ。一方、帰国した伊沢は今でも速さを追及している。若いチームメイトの野尻智紀から盗めるところは盗み、「スーパーフォーミュラでまたPPを獲りたい。それこそ速さの証明だし、ドライバーとしての誇り」と毎レース、毎セッション、上だけを目指して走り続けている。

*インタビュー全編は後日公式ホームページに掲載いたします。

Series Partner **HONDA TOYOTA**

Series Supporter **YOKOHAMA**

Promotion Partner **HITACHI**
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
Action Cam

八咫人
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ

J SPORTS

KCMG

ケーシーエムジー

18 小林可夢偉
Kamui KOBAYASHI
1986年9月13日 / 兵庫県 日本



KCMG Elyse SF14

RANKING **7** POINTS **12.5**

F1で活躍し、2015年にスーパーフォーミュラへ。2年間チームルマンで活躍してきたが今年チームを移籍。第4戦では優勝目前の2位表彰台を獲得。

<http://www.kamui-kobayashi.com/>



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

イトウチュウエネクス チーム インバル

19 関口雄飛
Yuhi SEKIGUCHI
1987年12月29日 / 東京都 日本



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **5** POINTS **15**

長年GTレースで活躍し昨年スーパーフォーミュラにデビューし、2勝する活躍。今季は開幕戦こそ入賞を逃したが、その後は3連続入賞している。

<http://yuhi-muteki.net/>



20 ヤン・マーデンボロー ★
Jann MARDENBOROUGH
1991年9月9日 / イギリス 英国



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **14** POINTS **2.5**

昨年全日本F3で2位となり、今年スーパーフォーミュラへ。まだ表彰台獲得こそないが、2度の入賞。星野一義監督の下、どこまで成長できるか期待だ。

<https://www.jannthaman.com/>



VANTELIN TEAM TOM'S

バンテリン チーム トムス

36 アンドレ・ロッテラー
Andre LOTTERER
1981年11月19日 / ドイツ 德国



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **2** POINTS **20**

2011年チャンピオン。11、12、14年とル・マン24時間レースで優勝している。毎年タイトルを争うが惜しくも届かず。今年こそ2度目の栄冠なるか。

https://twitter.com/andre_lotterer?lang=ja



37 中嶋一貴
Kazuki NAKAJIMA
1985年1月11日 / 愛知県 日本



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **6** POINTS **13**

元F1ドライバーで、2012、14年のチャンピオン。父はナカジマレーシングの中嶋悟監督。今季は開幕戦でポール・トゥ・ウインを飾っている。

<http://www.kazuki-nakajima.com/>



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

ドコモチームダンディライアンレーシング

40 野尻智紀
Tomoki NOJIRI
1989年9月15日 / 茨城県 日本

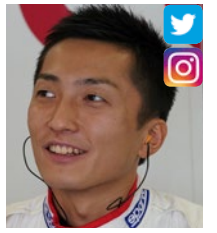


DOCOMO DANDELION M40S SF14

RANKING **16** POINTS **1**

デビューした2014年にいきなり優勝し、俄然注目される存在に。昨年は5度の入賞と実力を見せたが、今季はまだ本来の力が発揮できていないようだ。

https://twitter.com/tomoki_nojiri



41 伊沢拓也
Takuya IZAWA
1984年6月1日 / 東京都 日本



DOCOMO DANDELION M41Y SF14

RANKING **12** POINTS **4**

2008年にフォーミュラ・ニッポンへ。12年にはタイトルを争った。その後GP2に参戦し、15年に復帰。今季は開幕戦と第3戦で入賞を果たしている。

<http://www.takuya-izawa.com/>



B-Max Racing team

ビー・マックスレーシングチーム

50 小暮卓史
Takashi KOGURE
1980年8月1日 / 群馬県 日本



B-Max Racing team SF14

RANKING **—** POINTS **0**

2003年からフォーミュラ・ニッポンを戦い、ロッテラー選手とともに今年で15年目のベテラン。チームは今年初参戦。熟練の技でどこまで活躍できるか。

<http://www.takashi-kogure.com/>



TCS NAKAJIMA RACING

ティーシーエス・ナカジマレーシング

64 中嶋大祐
Daisuke NAKAJIMA
1989年1月29日 / 愛知県 日本



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **15** POINTS **2**

父はチームの中嶋悟監督、兄の一貴も選手として活躍中。開幕戦で入賞後は苦戦が続くが、昨年も後半に活躍を見せており、今後の巻き返しに期待だ。

<http://www.daisuke-nakajima.com/>



65 ナレイン・カーティケヤン
Narain KARTHIKEYAN
1977年1月14日 / インド 印度



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **—** POINTS **0**

2001年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。その後05、11、12年とF1で戦い、14年から再び日本で活動。今季チームを移籍し、新天地での入賞が待たれる。

<https://twitter.com/narainracing?lang=ja>



本山 哲 アンバサダーが語る オートポリス

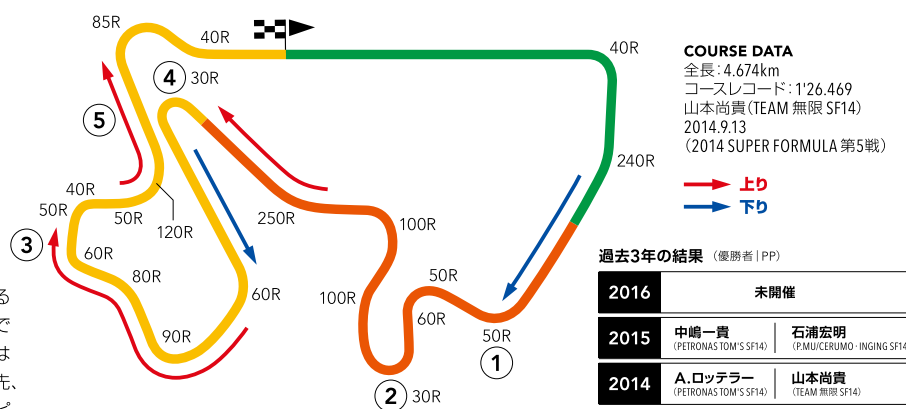
ポイントとなるコーナーでの走りに注目

昨年の震災、今年の豪雨と、オートポリスとその周辺の地域には立て続けに天災による被害があり、僕も馴染みのある場所なので心を痛めてきました。ですが、地元の方々や関係者の努力などでコースや設備も復旧され、再びオートポリスでレースを開催できるようになったことは喜ばしく、現役ドライバーのひとりとして感謝しています。

さて、そのオートポリスはドライバースサーキット。コーナーが連続しているテクニカルなコースで、攻めが、やりがいがあります。クルマやセットアップ以上にドライバーの腕が試されるコースですね。また、オーバーテイクしやすいというのと、レイアウト的にタイヤに厳しいコースというのも特徴。コースの路面は、震災の後に改修されたことで全体的にスムーズになってグリップも上がり、今まで以上に走りやすくなりました。1コーナーのブレーキングでは、少しクルマが跳ねる状況が残っています

どね。このコースでクルマのセットアップを決めるには、後半のセクター3のテクニカル区間も大切ですが、中速コーナーが多いセクター2もタイムには大きく影響してくると思います。1~2コーナー先、下っていった先の右コーナー(①)から第1ヘアピン(②)、セクター3にある連続する右コーナー(③)でアンダーステアが少ないクルマは結構速いと思います。予選、決勝で大きくセットアップが変わるということはないと思いますが、決勝ではリヤタイヤのグリップダウンを防ぐために、よりアンダーステア方向に持っていくのが普通ですね。

観客の方々にとっては、オートポリスはどこのコーナーに行っても近くで見られるというのが魅力で、すごく楽しいサーキットだと思います。クルマから見られる場所もあり、最終コーナー手前の大きなスタンドからは多くの範囲が見えますよね。1コーナーも一番のオーバーテイクポイントですし、コーナ



一手前のブレーキングを見るのもいいですよ。第2ヘアピン(④)やセクター3の連続右コーナー部分も上手くインに入れば、オーバーテイクが可能なので見どころになりますね。また、タイムに大きく影響するということはないですが、最後の上り区間(⑤)はドライバーによって走り方やライン取りが違うので、それを見るのも面白いと思います。

今回はタイヤが2スベック。予選のQ2、Q3はソフトタイヤでのアタックになりますが、おそらくコースレコードが出ると思います。間違いなくこれまでで最速になるはずなので、スーパーフォーミュラ

のコーナーでの速さを堪能してもらいたいです。決勝では作戦が分かれるでしょうね。もてぎと同様、スタートのタイヤがミディアムでもソフトでも戦略的には機能すると思いますし、オートポリスもピットロードのロスタイムが少ないコースなので、2ピット作戦の可能性もあるでしょう。シーズンも終盤に入ってきていますし、僕としてはこのところ結果がついてきていないインバルやトムスがそろそろ上位に来るのではないかと注目しています。チャンピオン争いに向けては、現在ランキングで中団にいる選手にとって、ここが踏ん張りどころだと思いますね。

Starting Grid — スターティンググリッド **自分でGrid表を完成させよう!**

1	No.	3	No.	5	No.	7	No.	9	No.	11	No.	13	No.	15	No.	17	No.	19	No.
2	No.	4	No.	6	No.	8	No.	10	No.	12	No.	14	No.	16	No.	18	No.		

PICK UP RACE QUEEN Vol.1



YOKOHAMA promotional models
宮本あかり (左) 近藤みき (右)
AKARI MIYAMOTO MIKI KONDO



#3,4 raffinee Lady
瀬野ユリエ (左)
YURIE SENO
千葉悠凧 (中左)
YUNA CHIBA
今井みどり (中右)
MIDORI IMAI
西村いちか (右)
ICHIKA NISHIMURA



#36 バンテリン レースクイーン
多田夏摘 (左)
NATUMI TADA
前田真実果 (右)
MAMIKA MAEDA



#36 マツモトキヨシ レースクイーン
千倉里菜
RINA CHIKURA

#36 にゃんこ大戦争 ガールズ
望月未来 (左)
MIRAI MOGHIZUKI
竹本ちえ (右)
CHIE TAKEMOTO



#40,41 docomoサーキットレディー
CHIKA (左) KAORI (右)
CHIKA KAORI

嗚呼。会いたくて会いたくて震えたよ…中津唐揚げ〜!…ではなく、オートボリス〜! 2年ぶりにSF14が九州・オートボリスに帰ってきたばい〜。今シーズン残り3戦となったSUPER FORMULA。チャンピオン争いも白熱する第5戦をさらに盛り上げるのは、このオートボリス戦でも採用されるソフトとメディアムの2つの顔を持ったタイヤたち!



リア流 SUPER FORMULA 調理法

PROFILE
水村リア (みずむらりあ) : スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージのMC担当。外国人ドライバーからレースクイーンまで幅広い対応力とステージを盛り上げる!

第4戦のもてぎで初お目見えした今年のソフトタイヤ。その2つの顔に翻弄されたチームたち…。昨日まであんなに笑顔で優しかったのに、今日はなんだか突然素っ気ない…。まるで難攻不落のクラスのマドンナのようなタイヤちゃん。彼女の心を射止める事ができれば優勝! でも気まぐれな彼女に次のレースではそっぽを向かれてしまう…。各チームが翻弄される中迎えるシーズン後半戦。彼女との距離を縮めた選手もいるらしい。次期F1ドライバー!?

注目されるガスリー選手が苦勞しながら手にした第4戦での優勝! 表彰台で見せた笑顔でポイントアップ☆ さらに、同じく、ルーキーにして2度表彰台を獲得しているローゼンクヴィスト選手。「職人」のニックネームを

持ちどんなマシンも乗りこなす彼の懐の深さに、タイヤちゃんも惹かれている!? でも現在のランキングトップはチャンピオン経験者の石浦選手。一昨年のオートボリス大会ではPPを獲得と得意の「デートスポット」で、彼女を口説きにかかると! 激しいアップダウンとテクニカルなコーナーが続くオートボリスは、まるでジェットコースター。今週末は遊園地デートかな♡ 各チーム丸となって必勝のデートプランを練ってくるでしょう。さあ、タイヤちゃんの心を射止め、表彰台の真ん中に立つのはだれだ? わたしの心を射止めるのは、ずーっと中津唐揚げくんですけどね♡

AUTOBACS Motorsports Conference
オートバックス モータースポーツ連絡協議会

KTEL RACE SERVICE

がんばろう! 九州

がんばれ! 熊本!

We are all together

TV放映/映像配信

BSフジ 決勝戦生中継 『2017スーパーフォーミュラ第5戦オートボリス』

番組では現地の臨場感をそのままお届けします。オフィシャルcommentary・ピエール北川と、アンバサダー本山哲の場内実況がサーキットの臨場感をリアルに伝え、ピットからはレース解説に定評のある松田次生と、今シーズンから初参戦の東(ひがし)美樹が、現場の緊張感をレポートします。
○放送時間: 9月10日(日) 午後1時00分~2時55分

BSフジ 『スーパーフォーミュラ GO ON!』

番組では、注目のレース関係者や豪華ゲストを招き「人」をテーマにトークを展開、スーパーフォーミュラの魅力に迫ります。MCは小林可夢偉と中嶋大祐の現役ドライバー2人。その2人をピエール北川がサポートし、さらに乃木坂46の樋口日奈がナレーターとして華を添えます。加えて、レースダイジェストコーナーでは、ピットリポーター松田次生がトップドライバーならではの徹底解説をお届けし、東美樹が現地でアシストをします。
○放送時間: 第6回 9月17日(日) 午前1時00分~1時55分
再放送 9月23日(土) 午後11時00分~11時55分

J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もO.A.します。
○放送時間: 9月9日(土) 午後1時30分~ 予選生中継 J SPORTS 3
9月10日(日) 午後12時40分~ 決勝生中継 J SPORTS 3

GYAO!

大会終了15日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

YouTube

スーパーフォーミュラ予選ならびに決勝の映像をダイジェスト版にて当日夜配信。
詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブページ」(<http://www.superformula.net/>) でご確認ください。
superformulavideo-YouTube
<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

TIME SCHEDULE タイムスケジュール

RACE レース
9月9日(土)
8:20- 8:40 N-ONE公式予選
9:00-10:00 SUPER FORMULA フリー走行
10:20-10:50 F3公式予選
11:10-11:55 ビットウォーク
12:20-12:50 JSB1000公式予選(Q1)
13:00-13:15 JSB1000公式予選(Q2)
13:45-14:05 SUPER FORMULA公式予選(Q1)
14:15-14:22 SUPER FORMULA公式予選(Q2)
14:32-14:39 SUPER FORMULA公式予選(Q3)
15:15- N-ONE決勝レース[7周]
16:20- F3決勝レース第17戦[15周]
17:05-17:40 キッズビットウォーク
9月10日(日)
8:15- 8:30 JSB1000ウォームアップ走行
8:50- 9:20 SUPER FORMULA フリー走行
9:20- SUPER FORMULA スタート練習
10:20- JSB1000決勝レース[19周]
11:10-11:55 ビットウォーク
12:20-12:50 SUPER FORMULAセレモニー
13:05- SUPER FORMULA決勝レース[54周]
15:45- F3決勝レース第18戦[21周]

EVENT イベント
9月9日(土)
8:45- 9:00 オープニングステージ MC:水村リア
10:00-10:30 APサーキットクイーン&ご当地キャラクターステージ
11:35-11:55 スーパーフォーミュラ予選直前トークショー ゲスト:松田次生、東美樹 MC:水村リア
12:00-12:15 トヨタクイズ大会 MC:今井優香
13:00-13:15 くま吉じゃんけん大会 MC:今井優香
14:55-15:15 JSBライダートークショー ゲスト:中須賀亮行選手、高橋巧選手、津田拓也選手、柳川明選手
15:30-15:50 SFトヨタドライバートークショー ゲスト:フェリックス・ローゼンクヴィスト選手、中嶋一貴選手 MC:今井優香
16:00-16:20 SFホンダドライバートークショー ゲスト:ピエール・ガスリー選手、塚越広大選手 MC:水村リア
16:25-16:55 レースクイーンステージ MC:水村リア
17:15-17:45 てくらぼ・びぎな一す 浅見理美、水村リア、スペシャルゲスト
9月10日(日)
8:00- 8:15 オープニングステージ MC:水村リア
8:15- 8:45 APサーキットクイーン&ご当地キャラクターステージ
8:50- 9:20 レースクイーンステージ MC:水村リア
9:35- 9:55 くま吉じゃんけん大会 MC:今井優香
10:00-10:20 スーパーフォーミュラ決勝直前トークショー ゲスト:本山哲、東美樹 MC:水村リア
10:30-10:50 SFトヨタドライバートークショー ゲスト:石浦宏明選手、山下健太選手 MC:今井優香
11:10-11:30 SFトヨタ監督トークショー ゲスト:館信秀監督、星野一義監督、近藤真彦監督 MC:今井優香
11:40-11:50 サーキットクイーンじゃんけん大会 出演:APサーキットクイーン
15:00-15:15 トヨタクイズ大会 MC:今井優香
17:00-17:30 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美、スペシャルゲスト

*スケジュール、内容、出演者等は予告なく変更、中止になる場合があります。

OFFICIAL FAN CLUB CLUB F
新規会員受付中!
豪華入会特典やチケット販売など、ファンクラブならではのサービスを予定! 詳しくは公式サイトを(<http://superformula.net/>)内のファンクラブページをご覧ください

オンボード映像からレースを紐解く『DRIVER'S EYES 2017シーズン Vol.1』開幕戦鈴鹿、第2戦岡山を収録したVol.1発売!
発売日:7月7日(金)/価格:2,700円(税込)
収録内容:第1戦 鈴鹿、第2戦 岡山
コース解説:中嶋一貴(鈴鹿)、塚越広大(岡山)
主音声:松田次生(解説)、ピエール北川(実況)
副音声:走行音のみ

全戦のライブタイミングをはじめ、SFをより楽しめる情報満載!!
SUPER FORMULA 公式アプリ
各セッションのライブタイミングはもちろん、各車両の位置情報、セクターベストタイムなど、SUPER FORMULAファンだけでなく、モータースポーツファンなら抑えておきたいタイム情報が全て揃った便利なもの。これがあればレースがより楽しめる!!

*iOS用アプリは iPhone、iPad の両方に対応。
また、アプリで配信される情報はパソコンのウェブブラウザでも閲覧可能です。
<http://superformula.racelive.jp/>
・アプリのダウンロード
価格 無料
動作環境 iOS用 iOS 8.0以降、iPhone、iPad、および iPod touchに対応
Android用 Android 4.1以降

インターネット/SNS
●スーパーフォーミュラ公式ウェブサイト <http://superformula.net>
●スーパーフォーミュラ公式Facebook <https://www.facebook.com/superformula.official>
●スーパーフォーミュラ公式Twitter https://twitter.com/super_formula

予選結果もすばやくここでCheck!

お求めは場内売店が公式サイトへ!